

# カメラ

カメラをご利用になる前に .....	218
静止画を撮影する .....	<b>フォトモード</b> 222
連続撮影する .....	<b>連続撮影</b> 226
パノラマで撮影する .....	<b>パノラマ撮影</b> 228
動画を撮影する .....	<b>ムービーモード</b> 228
動きの速い被写体をスローモーションで撮影する .....	<b>スピードムービー</b> 230
大切な場面をのがさず撮影する .....	<b>チャンスキャプチャ</b> 230
ボイスモードを使う .....	<b>ボイスモード</b> 230
撮影時の設定を変える .....	231
バーコードリーダーを利用する .....	<b>バーコードリーダー</b> 232
文字を読み取る .....	<b>テキストリーダー</b> 234

## 著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音などしたものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。



カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

## カメラをご利用になる前に

FOMA 端末に内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。

- FOMA 端末を閉じた状態ではカメラ機能の起動や撮影はできません。

## カメラの使いかた

### ● カメラモードにするには

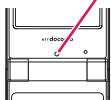
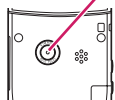
- ① 待受画面のデスクトップアイコン (📷) またはデスクトップインフォ (📷 フォトモード) を選択する
  - ② 待受画面表示中に [📷] (1 秒以上) を押す
  - ③ メインメニューの「LifeKit」、シンプルメニューから「カメラ」を選択する
- 約3分以上ボタン操作をしなかったときは、自動的にカメラモードを終了します。

### ● 外側カメラと内側カメラを切り替えるには

撮影画面で [ch] [機能] を押し、機能メニューから「内側カメラ」または「外側カメラ」を選択します。

外側カメラ

内側カメラ



#### ■ 外側カメラ

ほかの人や動物、風景などを撮影するときに使うと便利です。画面には、自分が見たとおりに表示されます (正像表示: 画面に表示された向きで撮影されます)。外側カメラでは、接写の機能を利用して近くのを撮影できます。

また、オートフォーカスを使って静止画を撮影できます。→ P.223

#### ■ 内側カメラ

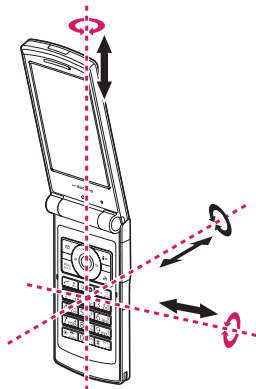
自分を撮影するときに使うと便利です。画面には鏡と同じ向きに表示 (鏡像表示) され、撮影結果は表示と逆向き (正像) に保存されます。連続撮影では使用できません。

### ● 接写について

- 近く近くにある被写体を撮影したいときは、「AF切替」で「接写」(P.223) を選択してください。外側レンズとの距離が約10cmの被写体にピントが合います。

### ● 手ブレ補正機能について

本FOMA端末は、手ブレ補正機能を搭載しています。外側カメラで静止画撮影や動画撮影をするとき、静止画は6軸方向、動画は4軸方向の手ブレを防止できません。



※赤色の矢印は静止画のみ

「手ブレ補正機能について設定する」→ P.232

## カメラ利用にあたって

### ■ 撮影するときのご注意

- カメラは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、とくに光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA 端末を閉じるときにレンズに力がかからないようにご注意ください。故障の原因となります。
- 外側カメラでオートフォーカス撮影を行う際、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- FOMA 端末を暖かい場所に長時間置いていた後は、画質が劣化することがあります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となります。
- 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがつかないようにしてください。

- カメラ撮影中は電池の消費量が多くなるため、撮影が終了したら速やかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。
- シャッター音、セルフタイマーの開始音、オートフォーカスロック完了音の音量を変更することや消去することはできません。また、ダウンロードしたメモリーをシャッター音に設定することはできません。
- 手ブレ補正設定を「OFF」に設定している場合、撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく手ブレ補正設定を「オート」に設定して撮影することをおすすめします。
- 静止画の撮影時にシャッター音が鳴った後、取り込みが完了するまで、FOMA端末が動かないようにしてください。
- 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。このようなときは、ご利用の地域の電源周波数に合わせて「ちらつき軽減」の設定を行うと、ちらつきを低減できる場合があります。
- 撮影画面を表示したりカメラを切り替えたりカメラの設定を変更した直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。

#### ■着信イルミネーションの点滅について

- 撮影時などには以下のように点灯または点滅しします。
  - 撮影画面表示中：赤色で点滅
  - 静止画撮影、マニュアル連続撮影：赤色で点灯（約3秒間）
  - オート連続撮影：赤色で点灯（撮影中）
  - 動画撮影、ボイスモード録音、パノラマ撮影：赤色で点滅
  - セルフタイマー作動中：水色で点滅→P.231


#### ■撮影した静止画・動画などの保存について

- 撮影した静止画や動画などは「画像保存先選択」や「動画保存先選択」、「音声保存先選択」で設定したフォルダに保存されます。
- 「自動保存設定」を「ON」に設定すると、静止画や動画などを撮影後、自動的に保存できます。
- 電池残量が少ないとき、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
- ファイル保存中に電源を切ったり、電池パックを取り外したときなど、不完全なファイルが保存される場合があります。

#### ■撮影が中断されるとき

- 着信（音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、64Kデータ通信）やエリアメールの受信、アラーム通知（ワンセグ視聴予約、ワンセグ録画予約、アラーム、スケジュール、To Doリスト）があったとき、ほかの機能の操作を行ったときには、撮影が中断されます。
  - 連続撮影中や動画撮影中は、撮影が中止されてこれらの画面に切り替わります。その後、切り替わった画面を終了させると、カメラの画面に戻りますので、着信やアラーム通知などの前に撮影したデータを保存できます。
  - カメラのズームや明るさを調節中は、調節中の設定が確定され、カメラメニューに戻ります。
  - セルフタイマーは中止されます。
- 以下の場合には中断されません。
  - カメラ撮影中（撮影画面表示時含む）にメール（エリアメールを除く）やメッセージR/Fを受信した場合は、「受信時動作設定」の設定にかかわらず、受信結果画面は表示されずにカメラの撮影が継続して行われます。
  - 「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定しておく、アラームを設定した時刻になっても、カメラの撮影や設定、セルフタイマーは中止されずに継続して行うことができます。ただし、「ワンセグ録画予約」はカメラの撮影や設定、セルフタイマーを中断してアラーム通知を行います。

#### ■microSDカードを使用するとき

- microSDカードへ保存中は「」が点滅します。このときは絶対にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。
- 「画像保存先選択」や、「動画保存先選択」で「microSD」を選択したときにmicroSDカードにフォルダが存在しない場合は、フォルダが自動的に作成されます。
- 「画像保存先選択」や、「動画保存先選択」で選択したmicroSDフォルダのファイル数が最大件数のときは、そのフォルダに設定できません。

## カメラモードのボタン操作

- / □ [📷]: シャッター
- ⊙: ズーム (望遠)
- ⊖: ズーム (広角)
- ⊕: オートフォーカスモード切替
- 🔒: フォーカスロックを実行
- ① ~ ⑥: それぞれ以下の撮影メニュー (P.221) を表示

- ①: カメラモード切替
- ②: 画像サイズ選択
- ③: 記録品質設定またはファイルサイズ設定
- ④: 撮影モード選択
- ⑤: 明るさ調節
- ⑥: ホワイトバランス設定

※ カメラモードによっては表示されない撮影メニューがあります。

- ⑨: 画面縦横切替 (「画面縦横自動切替」(P.116) が「OFF」のときのみ)
- ⑩: ボタン操作の説明を表示

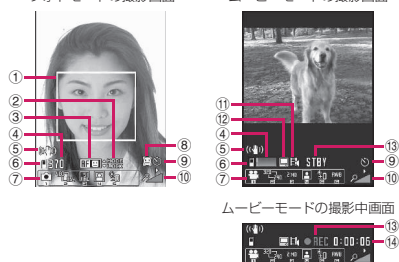
## 撮影画面の見かた

撮影画面にはカメラの設定状態がアイコンで表示されます。各アイコンの意味は以下のとおりです。

カメラ

フォトモードの撮影画面

ムービーモードの撮影画面



### ① フォーカス枠 (P.222)



- ……AF切替が「AF ON」、 「接写」のときのオートフォーカス枠
- ・白色: ピント調整前
- ・白い点線: ピント調整中
- ・緑色: ピント調整完了
- ・赤い点線: ピント調整失敗



- ……AF切替が「顔検出+AF ON」のオートフォーカス枠
- ・白色: 顔検出時
- ・灰色: 複数の顔検出時、ピント調整しないフォーカス枠



- ……AF切替が「顔検出+AF ON」で顔検出時のオートフォーカス枠
- ・白色: ピント調整中
- ・緑色: ピント調整完了
- ・赤色: ピント調整失敗

### ② AF操作ガイドンス (P.222)

- MODE LOCK ……AF切替とフォーカスロックの操作ガイドンス

### ③ オートフォーカス状態表示 (P.223)

- AF ON ……AF切替が「顔検出+AF ON」
- AF ON ……AF切替が「AF ON」
- AF ON ……AF切替が「接写」
- AF OFF ……AF切替が「AF OFF」

### ④ 保存可能枚数/保存容量表示※<sup>1</sup>

- 123 ……保存可能枚数
- ・白文字: 11 枚以上
- ・黄文字: 10 枚以下
- ・赤文字: 空きメモリなし※<sup>2</sup>
- ……全体容量に対する保存可能容量
- ・青: 残り500Kバイト以上
- ・黄: 残り500Kバイト未満
- ・赤: 空きメモリなし※<sup>2</sup>※<sup>3</sup>

※<sup>1</sup>: 枚数および容量表示は目安です。また、保存先が「microSD」に設定されていて、microSDカードが挿入されていない場合は表示されません。

※<sup>2</sup>: 撮影後に本体/microSDカードの空き容量に保存、または不要なデータを削除して保存します。

※<sup>3</sup>: 「ファイルサイズ設定」を「10MB」「長時間」に設定した場合は、撮影できません。

### ⑤ 手ブレ補正設定 (P.232)

- 📵 ……手ブレ補正設定が「オート」

### ⑥ 画像/動画/音声保存先選択 (P.224、229)

- 📷 50 ……保存先の設定状態 (本体/microSDカード)

### ⑦ 撮影メニュー (P.221)

- 📷 ……撮影メニューの各種設定状態

### ⑧ 顔選択モード (P.222)

- 👤 ……顔選択モードのとき

### ⑨ セルフタイマー (P.231)

- 🕒 ……セルフタイマー設定中

### ⑩ ズーム状態表示 (P.231)

- 🔍 ~ 🔍 ……ズームの設定状態

### ⑪ 記録種別設定 (P.229)

- 📷 ……映像+音声
- 📷 ……映像のみ
- 🔊 ……音声のみ

### ⑫ 記録品質設定 (P.229)

- 📷 ……長時間
- 📷 ……標準
- 📷 ……高品質
- 📷 ……最高品質

### 13 撮影状態表示

- ……動画撮影中
- ……動画撮影待機中

### 14 撮影時間

……動画撮影の残り時間（時：分：秒）

### おしらせ

- 「横撮影モード」(P.222、226、228) のときは、画面に が表示されます。矢印の方向が上になるように撮影してください。

## 撮影メニューの選択方法

FOMA端末を開いた状態のとき、撮影メニューをディスプレイに表示すると、アイコンを選択するだけでさまざまな撮影条件を設定することができます。

各撮影画面



表示中のメニューと  
反転アイコンの説明

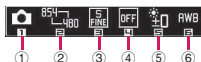


撮影画面で ~ を押すと、各ボタンに対応した撮影メニューが直接表示されます。  
※本章での操作説明はこの方法で記載しています。

● [選択] を押し、反転したアイコン機能に設定します。

## ● 撮影メニューのアイコンと設定内容

- カメラモードによって選択できる撮影メニューの項目が異なります。
- メールなど他の機能から呼び出したときや内側カメラを使用しているときなど、撮影条件によっては利用できないメニューがあります。



### ① カメラモード切替

- ムービーモード……P.228
- スピードムービー……P.230
- チャンスキャプチャ……P.230
- フォトモード……P.222
- オート連続撮影……P.226
- マニュアル連続撮影……P.226
- ボイスモード……P.230
- パノラマ撮影モード……P.228

### ② 画像サイズ選択

#### フォトモード

- ……8M (2,448 × 3,264) ~ QCIF (176 × 144)
- ……Java (480 × 480) ※ / Java (240 × 240) ※
- ……パノラマ (4,096 × 480 : 縦画面時、2,738 × 480 : 横撮影モード時)

※ : i アプリからカメラを起動したときのみ表示されます。

#### ムービーモード

- ……VGA (640 × 480) ~ QCIF (176 × 144)

※ スピードムービーでは「QVGA (320 × 240)」に固定されます。

### ③ 記録品質設定 / ファイルサイズ設定

#### フォトモード (記録品質設定)

- スーパーファイン……最高画質 (ファイル容量 : 大)
- ファイン……高画質 (ファイル容量 : 中)
- ノーマル……標準画質 (ファイル容量 : 小)

#### ムービーモード (ファイルサイズ設定)

- 500KB以下……500Kバイトまで
- 2MB以下……2Mバイトまで
- 10MB以下……10Mバイトまで (microSDのみ)

長時間……長時間 (microSDのみ)

カメラ

#### ④ 撮影モード選択

フォトモード

ムービーモード

- 📷 オート……自動調整モード
- 👤 人物……人物などの撮影に適したモード
- 😊 スマイル……笑顔の撮影に適したモード
- 🌄 風景……景色（夜景を含む）などの撮影に適したモード

- 🌅 逆光……逆光時の撮影に適したモード
- 🏊 スポーツモード……動きのある被写体に適したモード

- 🌃 ナイトモード……暗い所で人物などを撮影するのに適したモード

- 🐶 ペット……ペットなどの被写体に適したモード

- 🍳 料理……料理などの撮影に適したモード
- 📺 シーンOFF……撮影効果を無効に設定

※ムービーモードでは、「オート」「人物」「風景」のみ設定できます。

※フォトモードの内側カメラでは「人物」「ナイトモード」「シーンOFF」のみ設定できます。

※ムービーモードの内側カメラでは「人物」に固定されます。

※パノラマ撮影画面では「オート」に固定されます。

#### ⑤ 明るさ調節（カメラ起動時：±0）

- 📷 ±2 / 📷 ±1 / 📷 0 / 📷 -1 / 📷 -2……画像の明るさ（+2 / +1 / ±0 / -1 / -2）

#### ⑥ ホワイトバランス設定

フォトモードでは、撮影モード選択で「シーンOFF」を選択したときのみ設定できます。

- 📷 オート……自動的に色合いを補正
- ☀️ 晴天……晴れた屋外での撮影に適した設定
- ☁️ 曇天……曇った屋外や日陰の撮影に適した設定
- 💡 電球……白熱電球の明かりの下での撮影に適した設定

- 💡 蛍光灯……蛍光灯の明かりの下での撮影に適した設定

※パノラマ撮影画面のときは操作／設定できません。

## 静止画を撮影する

（フォトモード）

- カメラを起動したときには、オートフォーカスが「ON」に設定されています。「オートフォーカス撮影について」→P.223

### 1 待受画面表示中▶️▶️▶️「📷」を選択

■横画面で撮影する場合（横撮影モード）

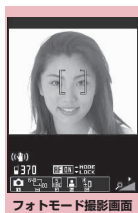
▶️FOMA端末を左に90度傾ける（「画面縦横自動切替」（P.116）が「OFF」の場合は、▶️📷 [機能] ▶️「横撮影モード切替」）

■オートフォーカスOFF（固定焦点）で撮影する場合

▶️📷 (数回)でオートフォーカスOFF（**RF OFF**）を確認

■クイックアルバムを起動する場合

▶️📷 [📷] クイックアルバムについて→P.312



機能メニュー▶️P.224

### 2 カメラを被写体に向ける▶️▶️▶️「📷」

■オートフォーカスをロックして撮影する場合

▶️📷 でオートフォーカスの種別を選択▶️焦点を合わせる箇所をフォーカス枠の中央にし、📷▶️撮影したい構図になるように、カメラの向きを変更▶️📷 [撮影]

フォーカスロックが完了すると、フォーカス枠が緑色になり、オートフォーカスロック完了音が鳴ります。

フォーカスロックに失敗すると、フォーカス枠が赤くなります。再度📷を押すとフォーカスロックし直すことができます。

■複数の顔を検出した場合（顔選択モード）

▶️📷 (1秒以上) ▶️📷 [前枠] または 📷 [次枠] で優先してピントを合わせたい人物の顔にフォーカス枠（白枠）を移動▶️📷 (1秒以上)

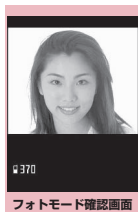
■撮影し直す場合

▶️📷 [CLR] ▶️「YES」

■撮影した画像を拡大表示する場合

▶️📷 [📷] 📷 [+]/📷 [-] を押すたびに1段階ずつ拡大／縮小します。

📷 [ch] [等倍] を押すと画像を等倍表示します。



機能メニュー▶️P.224

## 3 ● 【保存】

### お知らせ

- 画像サイズによっては画質が粗くなる場合があります。

## ● オートフォーカス撮影について

外側カメラを使った静止画撮影では、オートフォーカス機能を使うことができます。フォーカスロック時(ⓐを押した場合)にピントを合わせる「シングルオートフォーカス」と、被写体に連続してピントを合わせ続ける「コンティニュアスオートフォーカス」に対応しています。

### ■ 顔検出オートフォーカス撮影 (オートフォーカス ON)

カメラを被写体に向けると、人物の顔を検出して自動的に白いフォーカス枠が移動し、ピントと露出を合わせます。

● 顔検出オートフォーカス撮影は、撮影モードが「オート」「人物」「逆光」「スマイル」「シーンOFF」で、画像サイズがフルスクリーン(480×854または854×480)以上のときに利用できます。

● 人物の顔は同時に5人まで検出できます。複数の顔を検出した場合は、顔の大きさや位置に合わせてカメラがピントを合わせる顔を自動的に判断します。また、優先してピントを合わせたい人物の顔を選択できます。

顔選択モードについて→P.222

ピントを合わせる顔のフォーカス枠は白色で表示され、それ以外の顔のフォーカス枠は灰色で表示されます。

● 人物の顔を検出できなかった場合や画面に人物の顔が映っていない場合は、オートフォーカス撮影になります。

### ■ スマイルモード撮影 (オートフォーカス ON)

カメラを被写体に向けると、人物の顔を検出して自動的に白いフォーカス枠が移動し、ピントと露出を合わせます。シャッターボタンを押すとフォーカス枠がピンク色に変わり、フォーカス枠があたっている人物が笑顔になると自動的にシャッターが切れます。

### ■ オートフォーカス撮影 (オートフォーカス ON)

画面の中央に自動的にピントを合わせて撮影します。カメラの向きを変えて被写体を変更した場合などは、自動的にピントが再調整されます。

### ■ 接写撮影 (オートフォーカス ON)

画面の中央のごく近くにある被写体(ないときは外側レンズからの距離が約10cm)に、自動的にピントを合わせて撮影します。カメラの向きを変えて被写体を変更した場合などは、自動的にピントが再調整されます。

● 接写撮影は、撮影モードが「オート」「シーンOFF」のときに利用できます。また、カメラモードが「パノラマ撮影モード」のときにも利用できます。

### ■ 固定焦点撮影 (オートフォーカス OFF)

オートフォーカス機能を利用しないで撮影します。

### ■ オートフォーカスロック撮影 (オートフォーカス ON)

ピントを合わせたい箇所が画面の中央ではないとき、あらかじめ被写体にピントを合わせ、構図を変更して撮影します。

### お知らせ

- 以下のような場合は顔検出できないことがあります。
  - 顔が横や斜めを向いている場合
  - 顔が傾いている場合
  - めがねや帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている場合
  - 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、明るいまたは暗い場合
- 顔検出オートフォーカス機能のフォーカス距離は、3m以内です。
- オートフォーカスのフォーカス距離は、15cm以上です。
- 以下のような場合はピントが合わないことがあります。
  - 暗い場所で撮影する場合
  - コントラストが弱い(明暗差のない)被写体を撮影する場合
  - 遠いものと近いものが混在する被写体を撮影する場合
  - 撮影範囲内にライトなどがある場合
  - 動いている被写体を撮影する場合
  - FOMA端末を動かしながら撮影する場合
- フォーカスロックが完了するまでに時間がかかることがあります。
- フォーカスロックが完了すると、カメラの明るさも固定されます。フォーカスロックを完了してからカメラを動かすとカメラの明るさが適さないときがあります。そのような場合は再度フォーカスロックし直すか、オートフォーカスロックを解除して明るさを設定してください。



機能

フォトモード撮影画面 (P.222)  
／スマイルモード撮影画面  
(P.225)／連続撮影画面 (P.226)  
／パノラマ撮影画面 (P.228)

内側カメラ⇄外側カメラ※1……内側カメラと外側カメラを切り替えます。

カメラモード切替、画像サイズ選択※2、記録品質設定→P.221 (撮影メニュー項目)

クイックアルバム→P.312

AF切替※3※4……外側カメラのオートフォーカスを切り替えます。

撮影間隔／枚数※5……連続撮影時の撮影間隔と枚数を設定します。→P.227

#### カメラ調節

撮影モード選択※2→P.222 (撮影メニュー項目)

スマイルレベル※1※3……シャッターが切れる笑顔のレベルを「レベル3、レベル2、レベル1 (微笑)」から選択します。

明るさ調節※1……☺で撮影する明るさを「-2～±0～+2」の5段階で調整します。約2秒間ボタン操作をしないと自動的に設定されます。

ホワイトバランス設定※2※4→P.222 (撮影メニュー項目)

エフェクト設定……撮影する画像の効果を、「フルカラー、セピア、白黒」から選択します。

ちらつき軽減……撮影画面のちらつきを抑えます。「オート、モード1 (50Hz地域)、モード2 (60Hz地域)」から選択します。

#### シャッター音選択

セルフタイマー設定※4→P.231

フレーム選択※1→P.225

自動保存設定……撮影後「画像保存先選択」で設定したフォルダに自動保存するかしないか (ON、OFF) を設定します。

#### 画像保存先選択

ファイル制限……撮影した静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.309

#### 保存容量確認、ヘルプ

手ブレ補正設定※3※6→P.232

#### 位置情報付加

現在地確認から付加……現在の位置情報を取得し付加します。

位置履歴から付加、電話帳から付加、マイプロフィールから付加

位置情報詳細……付加した位置情報の詳細を確認します。

#### 位置情報削除

横撮影モード切替⇄横撮影モード解除※7……撮影の向きを切り替えます。

※1：フォトモード撮影画面、スマイルモード撮影画面でのみ利用できる機能です。

※2：パノラマ撮影画面のときは操作／設定できません。

※3：内側カメラのときは操作／設定できません。

※4：スマイルモード撮影画面のときは利用できません。

※5：連続撮影画面でのみ利用できる機能です。

※6：連続撮影画面のときは操作／設定できません。

※7：「画面縦横自動切替」(P.116)を「OFF」に設定しているときのみ利用できます。

#### おしらせ

##### <撮影モード選択>

●「ナイトモード」で撮影する場合、オートフォーカス機能は使えません。

●外側カメラで画像サイズが「フルスクリーン」以下の静止画撮影時、「ナイトモード」に設定すると高感度撮影ができます。

高感度撮影では「手ブレ補正設定」の設定にかかわらず、手ブレ補正は「OFF」となります。

##### <シャッター音選択>

●マナーモード設定中 (「メモ確認音」が「OFF」) は、確認のためのシャッター音は鳴りません。



フォトモード確認画面 (P.222)  
／スマイルモード撮影確認画面  
(P.225)／連続撮影詳細表示確認画面 (P.227)／パノラマ撮影確認画面 (P.228)

機能

保存……「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存します。

鏡像保存※1……撮影した静止画を、左右を反転させて「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存します。

メール作成→P.226

フォトモード確認画面で  を押してもiモードメールやデコメール®の作成、ブログ投稿用のメールを作成することができます。

画像編集※2→P.313

イメージ貼付※1※2……撮影した静止画を待受画面などに設定します。



## フレーム取替え※1※2→P.225

鏡像表示⇔正像表示※1……確認画面の画像を鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

## 画像保存先選択※2

ファイル制限……撮影した静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.309

## 位置情報付加※2→P.224 (機能メニュー項目)

取り消し※2……撮影した静止画を削除してフォトモード撮影画面に戻ります。

※1: パノラマ撮影確認画面のときは操作/設定できません。

※2: 連続撮影詳細表示確認画面のときは操作/設定できません。

### おしらせ

#### <画像編集>

●「画像編集」を行うと正像表示になります。

#### <イメージ貼付>

●以下の場合には画像を貼り付けできません。

- 画像サイズがフルHD(1,080×1,920または1,920×1,080)以上
- テレビ電話中に送信する画像へ貼り付ける場合で、画像のデータ容量が100Kバイトを超えたとき
- 待受画面などに設定する静止画は「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存されます。ただし、「microSD」に設定している場合は、本体のマイピクチャのカメラフォルダに保存されます(microSDカードには保存されません)。

## スマイルモードで笑顔を撮影する

カメラが笑顔を検出して、自動でシャッターを切ります。

- スマイルモードで撮影できるのは、画像サイズがフルスクリーン(480×854または854×480)以上のときです。
- シャッターが切れる笑顔のレベル(スマイルレベル)を設定できます。→P.224

## 1 フォトモード撮影画面 (P.222) ▶



スマイルモード撮影画面  
機能メニュー▶P.224

## 2 カメラを被写体に向ける▶●【スマイル】

フォーカス枠があたっていると人物が笑顔になるとシャッターが自動的に切れます。笑顔の検出中は😊が点滅します。



スマイルモード  
撮影確認画面  
機能メニュー▶P.224

### ■撮影し直す場合

▶[CLR]▶[YES]

### ■笑顔の検出を中断する場合

▶[☐]▶[中止]

### ■笑顔が検出される前に撮影する場合

▶●【撮影】

## 3 ●【保存】

### おしらせ

- フォーカス枠が表示されずにシャッターが切れる場合があります。

## フレームを重ねて撮影する (フレーム撮影)

- 撮影できる画像サイズはフルスクリーン(480×854または854×480)以下です。
- 内蔵されているフレームのほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。

## 1 フォトモード撮影画面 (P.222) ▶

[ch]【機能】▶「フレーム選択」▶フレームを選択

■フレーム撮影を解除する場合  
▶[OFF]

## 2 カメラを被写体に向ける▶●【撮影】

「フレーム撮影確認画面」が表示されます。

■保存する前にフレームを変更する場合  
▶[ch]【機能】▶「フレーム取替え」

## 3 ●【保存】

## 撮影した静止画を利用して i モードメールやデコメール®を作成する

撮影した静止画を i モードメールに添付したり、デコメール®の本文に挿入したり、ブログ投稿用のメールを作成します。

### 1 フォトモード確認画面 (P.222) ▶

【/Blog】▶以下の項目から選択

#### 画像添付※1

**そのまま添付**……画像サイズを変更しないで、そのまま添付します。

**QVGA 縮小添付**……画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイル容量を変更して添付します。

**VGA 縮小添付**……画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイル容量を変更して添付します。

#### 画像挿入

**そのまま挿入**※2……画像サイズを変更しないで、そのまま挿入します。

**SubQCIF 縮小挿入**……画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイル容量を変更して挿入します。

#### ブログ投稿※1

**そのまま添付**……画像サイズを変更しないで、そのまま添付します。

**QVGA 縮小添付**……画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイル容量を変更して添付します。

**VGA 縮小添付**……画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイル容量を変更して添付します。

※1：QVGA 縦 (240×320)、QVGA (320×240) 以下の画像サイズで撮影した場合は、「そのまま添付、QVGA 縮小添付、VGA 縮小添付」の選択画面は表示されません。また、パノラマ撮影の場合は「QVGA 縮小添付、VGA 縮小添付」は選択できません。

※2：QCIF (176×144) 以外のときは選択できません。

### 2 メールを作成

i モードメールの作成→P.148  
デコメール®の作成→P.150

## おしらせ

- 「ブログ・メールメンバー」でブログ投稿先アドレスが設定されていると、「ブログ投稿」でメールを作成するときに宛先が自動で入力されます。  
→P.156
- 画像サイズが8Mの場合で記録品質設定が「ファイン」「スーパーファイン」のときは、「そのまま添付」でメール作成できません。

## 連続撮影する

(連続撮影)


外側カメラを利用し、最大20枚までの静止画を連続撮影します。連続撮影には、オート連続撮影とマニュアル連続撮影があります。

- オート連続撮影は、シャッターを切ると、設定した撮影枚数と撮影間隔で自動的に撮影する機能です。オート連続撮影の場合、オートフォーカス機能で撮影できるのは最初の1枚のみです。2枚目以降は1枚目で合わせたフォーカス位置での撮影となります。
- マニュアル連続撮影は、1枚ずつシャッターを切りながら設定した枚数を撮影する機能です。マニュアル連続撮影の場合、撮影中は、1枚ずつオートフォーカスの設定を切り替えることができます。
- 連続撮影した静止画を、自作アニメに登録してアニメーションとして楽しむこともできます。
- 連続撮影中にFOMA端末を折り畳むと、撮影が終了します。

### 1 フォトモード撮影画面 (P.222) ▶

1 ▶「」または「」

#### ■ 横画面で撮影する場合 (横撮影モード)

▶FOMA端末を左に90度傾ける (「画面縦横自動切替」(P.116) が「OFF」の場合は、▶ [機能] ▶「横撮影モード切替」)

#### ■ オートフォーカスOFF (固定焦点) で撮影する場合

▶ (数回) でオートフォーカスOFF (RF OFF) を確認

#### ■ クイックアルバムを起動する場合

▶ 【】

クイックアルバムについて→P.312

撮影枚数 / 撮影可能枚数



連続撮影画面 (例: マニュアル)  
機能メニュー▶P.224

## 2 カメラを被写体に向ける▶▶ [連写、撮影]

■オートフォーカスをロックして撮影する場合

「静止画を撮影する」操作2 → P.222

■連続撮影を中止する場合  
オート連続撮影：▶▶ [NO]

マニュアル連続撮影：▶▶ [CLR]

■保存する静止画を選択する場合

操作3の前に、あらかじめ保存する画像を選択しておきます。

■詳細表示で確認する場合  
▶▶ [ ] で囲み枠を確認する画像に移動▶▶ [詳細]  
☺で確認する静止画を切り替えることができます。

■詳細表示した静止画を1件のみ保存する場合

▶▶ [保存]



機能メニュー▶▶P.227



機能メニュー▶▶P.224

## 3 [ch] [機能] ▶▶ 保存する方法を選択

「選択保存」「全保存」「全保存&自作アニメ」のいずれかを選択します。→P.227

「画像保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。

「選択保存」を選択した場合、画像の保存が終了すると、保存した画像を除いた「連続撮影確認画面」が表示されます。

- 連続撮影確認画面で、[ ] を短く（1秒未満）押しと選択保存となります。[ ] [ ] または [ ] [ ] を1秒以上押しと全保存となります。

### おしらせ

- 強い光源や動きが大きいものを被写体としてオートで撮影する場合、撮影間隔が設定した時間よりも長くなることがあります。

## ● 撮影間隔と撮影枚数を設定する

### 1 フォトモード撮影画面 (P.222) ▶▶

[1] ▶▶ [AUTO] または [ ] ▶▶ [ch] [機能] ▶▶ 「撮影間隔/枚数」▶▶ 以下の項目から選択

**撮影間隔**……撮影する間隔を「0.5秒、1.0秒、2.0秒」から選択します。  
マニュアル連続撮影のときは設定できません。

**撮影枚数**……撮影する枚数(05~20枚の2桁)を入力します。

最大撮影枚数は画像サイズによって変わります。画像サイズがフルスクリーン (240×427 または 427×240)、QVGA縦 (240×320)、QVGA (320×240) の場合、5~10枚となります。

### 2 設定が終わったら [CLR] ▶▶ [CLR]

連続撮影画面に戻ります。

### 機能 連続撮影確認画面 (P.227)

**選択保存**…… を付けた静止画を保存または鏡像保存します。

**全保存**……撮影したすべての静止画を保存または鏡像保存します。

**全保存&自作アニメ**……撮影したすべての静止画を保存または鏡像保存し、自作アニメにも登録します。

**1件選択、全選択**……囲み枠のある静止画またはすべての静止画にを表示して選択状態にします。

**1件解除、全解除**……囲み枠のある静止画またはすべての静止画のが消えて選択状態を解除します。

**鏡像表示⇄正像表示**……確認画面の画像を、鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

### 画像保存先選択

**選択ファイル制限**…… を付けた静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.309

**全ファイル制限**……撮影したすべての静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.309

**位置情報付加**→P.224 (機能メニュー項目)

**取り消し**……撮影した静止画をすべて削除して連続撮影画面に戻ります。

## おしらせ

### <全保存&自作アニメ>

- 「画像保存先選択」で「microSD」に設定している場合は、本体のマイピクチャのカメラフォルダに保存されます（microSDカードには保存されません）。

## パノラマで撮影する (パノラマ撮影)

FOMA端末を横方向に動かし、連続して画像を取り込むことにより、1枚のパノラマ写真を自動的に作成できます。

- パノラマ撮影では内側カメラは利用できません。
- 撮影中にFOMA端末が上下にぶれると、パノラマ写真の上下が狭くなったり、歪みが出る場合があります。
- 動いているものはうまく撮影できないことがあります。
- 被写体が単純な模様だったり、模様がない場合などは撮影に失敗する場合があります。

### 1 フォトモード撮影画面 (P.222) ▶



#### ■ 横画面で撮影する場合 (横撮影モード)

▶ FOMA端末を左に90度傾ける（「画面縦横自動切替」(P.116)が「OFF」の場合は、▶ **[ch]** [機能] ▶ 「横撮影モード切替」)

#### ■ クイックアルバムを起動する場合



クイックアルバムについて→P.312



パノラマ撮影画面  
機能メニュー▶P.224

### 2 ● 【撮影】

パノラマ撮影が開始されます。パノラマ撮影したい範囲でFOMA端末を左右どちらか一方に動かしてください。緑色の線を撮影ガイドンスに合わせて、できるだけ水平に動かします。FOMA端末を移動させる速度は、画面に「[GOOD]」が表示されるように動かしてください。早い場合は「[FAST]」が表示され、正確なパノラマ撮影ができません。保存可能容量になった場合は、自動的に撮影が終了し、パノラマ撮影確認画面が表示されます。



パノラマ撮影中画面

### 3 ● 【終了】

#### ■ 撮影し直す場合



「YES」

#### ■ 撮影した画像を拡大表示する場合



▶ **[+]** / **[-]** を押すたびに1段階ずつ拡大/縮小します。

▶ **[ch]** [等倍] を押すと画像を等倍表示します。



パノラマ撮影確認画面  
機能メニュー▶P.224

### 4 ● 【保存】

## 動画を撮影する (ムービーモード)

- 「ファイルサイズ設定」を「10MB以下」、「長時間」に設定した場合は、動画撮影後、microSDカードに保存して撮影を終了します。
- 撮影時間は撮影条件によって異なります。
- 通話中は動画撮影できません。
- 動画撮影中にFOMA端末を折り畳むと、撮影が終了します。
- 以下の設定で撮影することで、動画再生に対応したすべてのFOMA端末で再生できます。

機能	設定
画像サイズ選択	QCIF (176 × 144)
記録品質設定	標準、高品質
ファイルサイズ設定	500KB以下

### 1 フォトモード撮影画面 (P.222) ▶



#### ■ 横画面で撮影する場合 (横撮影モード)

▶ FOMA端末を左に90度傾ける（「画面縦横自動切替」(P.116)が「OFF」の場合は、▶ **[ch]** [機能] ▶ 「横撮影モード切替」)

#### ■ 「i モーション」/「ムービー」に保存されている動画を表示する場合



「i モーション」・「ムービー」を再生する」→P.314



ムービーモード撮影画面  
機能メニュー▶P.229

## 2 カメラを被写体に向ける▶▶ [撮影]

撮影が開始されます。  
撮影中にズームの調節をすることが出来ます。

- **ファイルサイズ設定で設定した容量になった場合**  
▶ [OK]



ムービーモード撮影中画面

## 3 [終了]

- **撮影した動画を再生して確認する場合**  
▶ [再生]
- **撮影し直す場合**  
▶ [CLR] ▶ [YES]



ムービーモード確認画面

機能メニュー▶P.230

## 4 [保存]

### おしらせ

- 動画撮影中にズーム調節などのボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。

機能

### ムービーモード撮影画面 (P.228)

**内側カメラ⇄外側カメラ**……内側カメラと外側カメラを切り替えます。

**カメラモード切替、画像サイズ選択、ファイルサイズ設定**→P.221 (撮影メニュー項目)

**記録品質設定**……動画撮影時の画質・時間を「長時間、標準、高品質、最高品質」から選択します。「長時間」は、撮影時間は最も長くなりますが、画質は最も低くなります。これに対し「最高品質」は、画質は最も高くなりますが、撮影時間は最も短くなります。

**撮影動画一覧**→P.314

**カメラ調節**

**撮影モード選択**\*1→P.222 (撮影メニュー)

**明るさ調節**……☺で撮影する明るさを「-2～±0～+2」の5段階で調整します。約2秒間ボタン操作をしないと自動的に設定されます。カメラ機能を起動したときは「±0」に設定されています。

**ホワイトバランス設定**→P.222 (撮影メニュー)

**エフェクト設定**……撮影する画像の効果を、「フルカラー、セピア、白黒」から選択します。

**ちらつき軽減**……撮影画面のちらつきを抑えます。「オート、モード1 (50Hz地域)、モード2 (60Hz地域)」から選択します。

**動画シャッター音選択**\*2

**セルフタイマー設定**→P.231

**記録種別設定**……「映像+音声、映像のみ、音声のみ」から選択します。

**自動保存設定**……撮影後「動画保存先選択」で設定したフォルダに自動保存するかしないか (ON、OFF) を設定します。

**動画保存先選択**\*3……撮影した動画や、音声のみの動画の保存先を設定します。microSDカードに保存する場合、映像つきの動画は「SDビデオフォルダ」内に、音声のみの動画は「マルチメディアフォルダ」内に保存されます。

**ファイル制限**……撮影した動画を再配布できるかどうかを設定します。→P.309

**保存容量確認、ヘルプ**

**手ブレ補正設定**\*1→P.232

**横撮影モード切替⇄横撮影モード解除**\*4……撮影の向きを切り替えます。

\*1：内側カメラのときは操作/設定できません。

\*2：「記録種別設定」で「音声のみ」に設定している場合およびボイスモード時は、「録音開始音選択」となります。

\*3：「記録種別設定」で「音声のみ」に設定している場合およびボイスモード時は、「音声保存先選択」となります。

\*4：「画面縦横自動切替」(P.116) を「OFF」に設定しているときのみ利用できます。

### おしらせ

<撮影モード選択>

- 内側カメラでは人物に固定されます。

<動画シャッター音選択、録音開始音選択>

- マナーモード設定中 (「メモ確認音」が「OFF」) は、確認のためのシャッター音は鳴りません。
- ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定できません。またシャッター音の音量は変更できません。

<保存容量確認>

- 表示される容量はおおよその目安です。

## 再生

**保存**……撮影した動画が「動画保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。

**メール作成**……撮影した動画を添付した i モードメールを作成します。→P.148

ムービーモード確認画面で [Blog] を押しても動画を添付した i モードメールの作成、ブログ投稿用のメールを作成することができます。

**待受画面設定**……撮影した動画を待受画面に設定します。

## タイトル編集

**動画保存先選択**\*→P.229 (機能メニュー項目)

**ファイル制限**……撮影した動画を再配布できるかどうかを設定します。→P.309

**取り消し**……撮影した動画を削除してムービーモード撮影画面に戻ります。

\*:「記録種別設定」で「音声のみ」に設定している場合およびボイスモード時は、「音声保存先選択」となります。

## お知らせ

## &lt;待受画面設定&gt;

- 待受画面に設定する動画は、「動画保存先選択」で設定したフォルダに保存されます。ただし、「microSD」に設定している場合は、本体の i モーション/ムービーのカメラフォルダに保存されます。

動きの速い被写体をスローモーションで撮影する  
(スピードムービー)

動きの速い被写体を確認したいときなどに利用します。再生はスローモーションになります。

- 横撮影モード時 (FOMA 端末を左に 90 度傾ける) のみ撮影できます。
- スピードムービーでは内側カメラを利用できません。

## ① フォトモード撮影画面 (P.222)



## ② カメラを被写体に向ける▶●【撮影】

撮影が開始されます。

- ファイルサイズ設定で設定した容量になった場合

▶【OK】

## ③ ●【終了】

- ▶撮影した動画を再生して確認する場合  
 [再生]
- 撮影し直す場合  
▶【CLR】▶【YES】

## ④ ●【保存】

大切な場面をのがさず撮影する  
(チャンスキャプチャ)

動画撮影時に、撮影可能時間を過ぎても撮りたい場面まで撮影を続けます。

- 撮影した動画は、撮影を終了した時点から撮影可能な時間分までさかのぼって保存されます。それ以前に撮影した部分は保存されません。

## ① フォトモード撮影画面 (P.222) ▶



## ② カメラを被写体に向ける▶●【撮影】

撮影が開始されます。

撮影中にズームの調節をすることができます。撮影可能時間を過ぎると、残り撮影時間の表示が点滅します。

## ③ ●【終了】

撮影が終了します。

## ④ ●【保存】

## ボイスモードを使う (ボイスモード)

音声のみの動画として、音声を録音します。

## ① フォトモード撮影画面 (P.222) ▶



「録音開始画面」が表示されます。

ムービーモード撮影画面の機能メニュー  
→P.229

## ② ●【録音】

録音が始まります。

## ③ ●【終了】

録音が終了すると「録音確認画面」が表示されます。

ムービーモード確認画面の機能メニュー  
→P.230

## ④ ●【保存】

## 撮影時の設定を変える


ズームやセルフタイマー、手ブレ補正の設定などを行います。

### ズームを使う

ズーム機能を使って、撮影する画像を写したい大きさに調節します。

- ズームはデジタルズームです。
- 本機能はスピードムービーでは利用できません。

### 1 各撮影画面▶でズームを調節

を押すたびに1段階ずつ変化し、押し続けると連続的に変化します。

#### おしらせ

- カメラ機能を起動したときは「1倍」になります。また、画像サイズやカメラモードを切り替えたときも「1倍」になります。

### ■ズームの画像サイズ別最大倍率

画像サイズ	静止画撮影	動画撮影
外側カメラ (16段階調節)		
8M	手ブレ補正オート: 約2.7倍	—
5M	手ブレ補正OFF: 約3.0倍	
3M		
フルHD		
フルスクリーン※1		
パノラマ	手ブレ補正オート: 約1.6倍 手ブレ補正OFF: 約3.0倍	
VGA	手ブレ補正オート: 約2.7倍 手ブレ補正OFF: 約3.0倍	手ブレ補正オート: 約1.6倍 手ブレ補正OFF: 約3.0倍
ワイド	—	
Java※2※3	約3.0倍	—
フルスクリーン※4		
QVGA縦	手ブレ補正オート: 約5.4倍 手ブレ補正OFF: 約6.0倍	手ブレ補正オート: 約1.6倍 手ブレ補正OFF: 約3.0倍
QVGA		
Java※2※5	約6.0倍	—
QCIF	約9.0倍	手ブレ補正オート: 約1.6倍 手ブレ補正OFF: 約3.0倍

画像サイズ	静止画撮影	動画撮影
内側カメラ (1段階調節)		
VGA	—	約1.0倍
ワイド	—	約1.0倍
Java※2※3※5	約1.0倍	—
フルスクリーン※4		
内側カメラ (2段階調節)		
QVGA縦	約1.5倍	—
QVGA		縦画面時: 約1.9倍 横撮影モード: 約1.5倍
QCIF	—	約1.9倍

※1: 横480×縦854ドット、横854×縦480ドット  
※2: i アプリからカメラを起動したときのみ表示されます。

※3: 横480×縦480ドット

※4: 横240×縦427ドット、横427×縦240ドット


※5: 横240×縦240ドット

### セルフタイマーを使う


- 撮影終了後、セルフタイマーは「OFF」に戻ります。

### 1 各撮影画面▶【機能】▶「セルフタイマー設定」▶「ON」▶セルフタイマーの時間 (01～15秒の2桁) を入力

#### ●セルフタイマーを設定すると


ディスプレイに「」が表示され、セルフタイマーが設定されていることを示します。

●[撮影]を押すと、セルフタイマーの開始音が鳴ってセルフタイマーが動作をはじめます。



着信イルミネーションが水色で点滅し、ディスプレイの「」も点滅します。

撮影される約5秒前からカウント音が鳴り、点滅が速くなります。


#### ■セルフタイマーの設定を解除する場合

▶【機能】▶「セルフタイマー設定」▶「OFF」

#### ■タイマーの動作を止める場合

▶ [中止] または  [CLR]

#### おしらせ

- セルフタイマーのカウント中に  [撮影] を押し、手で撮影することもできます。
- スマイルモード撮影、マニュアル連続撮影では、セルフタイマーを利用できません。
- オートフォーカスロックで撮影する場合は、あらかじめピント合わせを行ってからセルフタイマー撮影を行ってください。



## 手ブレ補正について設定する

外側カメラを使った撮影では、手ブレ補正機能を使うことができます。

- 本機能はフォトモード、パノラマ撮影モード、ムービーモード、チャンスキャプチャで利用できます。連続撮影、スピードムービーでは利用できません。

### ① 各撮影画面 ▶ 【機能】 ▶ 「手ブレ補正設定」 ▶ 以下の項目から選択

**オート**……フォトモード、パノラマ撮影モードの場合、手ブレの発生しやすい室内や暗い場所での撮影時に、自動で手ブレを補正します。ムービーモード、チャンスキャプチャの場合、撮影状況にかかわらず常に手ブレ補正が働きます。

**OFF**……手ブレ補正を使わないで撮影します。

### おしらせ

- 本機能はあくまでも手ブレを軽減するものであり、効果は被写体や撮影条件によって異なります。
- 被写体の一部が動いていると、被写体の動いている箇所に残像が残る場合や、全体にノイズ感が出る場合があります。このような場合は本機能を「OFF」に設定して撮影してください。

## バーコードリーダーを利用する (バーコードリーダー)

外側カメラを利用しJANコード、QRコード、CODE128を読み取ります。とくにQRコードの場合、読み取りデータからPhone To/AV Phone To、Mail To、Web To、i アプリTo、ブックマーク登録、電話帳登録、文字表示、文字のコピーを行うことができます。また、画像やメロディ、トルカのデータを読み取り、再生や保存をすることもできます。

- 読み取りデータは5件まで登録できます。
- FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- バーコードを読み取るときは、外側カメラをバーコードから約10cm離してください。

### ■ JANコード、QRコード、CODE128について

- JANコードとは  
太さや間隔の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。8桁(JAN8)および13桁(JAN13)のバーコードを読み取ることができます。  
※右上のJANコードをFOMA端末で読み取ると「4942857113068」と表示されます。



- QRコードとは  
縦・横方向の模様で数字、英字、漢字、カナ、絵文字などの文字列を表現している二次元コードの1つです。また、画像やメロディ、トルカを扱っているQRコード、1つのデータが複数のQRコードに分かれているものもあります。  
※右上のQRコードをFOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。



- CODE128とは  
太さや間隔の異なる縦の線(バー)で数字、英字、記号を表現しているバーコードです。CODE128を読み取るには対応しているiアプリをダウンロードする必要があります。→P.282



## コードを読み取る

### 1 MENU ▶ 「LifeKit」 ▶ 「バーコードリーダー」

- 機能をデスクトップに貼り付ける場合  
▶ **[ch]** [機能] ▶ 「デスクトップ貼付」

### 2 バーコードを認識範囲に表示

自動的に読み取りが開始されます。

認識範囲は画面の四隅に「F、T、L、J」で示されます。

ピントが合った状態で、バーコード全体が認識範囲の中にできるだけ大きく入るようにします。

読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴ります。

読み取りに時間がかかる場合があります。

#### ■ 読み取りを中止する場合

- ▶ **[●]** [中止] ▶ 「OK」

#### ■ ズームを調節する場合

- ◎ : 拡大されます。
- : 標準に戻ります。

#### ■ 複数のQRコードに分かれているデータを読み取る場合

- ▶ 「OK」 ▶ **[◎]** [読取] ▶ QRコードを認識範囲に表示

最大16枚に分割された複数のQRコードを読み取ることができます。

### 3 読み取ったデータを確認

- 読み取ったデータを破棄する場合  
▶ **[CLR]** ▶ 「YES」

### 4 **[ch]** [機能] ▶ 「登録」 ▶ 「YES」 ▶ 「OK」

読み取ったデータが保存されます。

#### おしらせ

- JANコード、QRコード、CODE128以外のバーコードは読み取れません。また、バーコードのサイズによっては、読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては正しく認識できない場合があります。
- マナーモード設定中は、読み取り完了音は鳴りません。
- 文字編集画面からバーコードリーダーを起動することができます。このとき、読み取ったデータは文字編集画面に入力されます。

#### おしらせ

- 読み取った画像の画像サイズ、ファイルサイズによっては、保存できないことがあります。
- 読み取ったデータをmicroSDカードに登録することはできません。

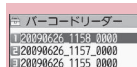
## 読み取りデータを利用する

- 利用できる読み取りデータは、以下のとおりです。

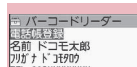
項目	説明
電話帳登録	名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、誕生日、郵便番号、住所、メモを電話帳に一括登録→P.88
メール作成	宛先、題名、本文が一括入力されたiモードメールを作成→P.148
Bookmark登録	URLとタイトル名をブックマークに登録→P.192
iアプリ起動	指定されているiアプリを起動→P.280
メロディのアイコン	そのメロディを再生→P.322
電話番号	「Phone To / AV Phone To機能」→P.200
トルカのアイコン	そのトルカを表示→P.290
メールアドレス	「Mail To機能」→P.200
URL	「Web To機能」→P.200
画像	その画像を登録→P.197

### 1 読み取り画面 (P.233) ▶ **[ch]** [機能] ▶ 「読み取りデータ一覧」 ▶ 読み取りデータを選択 ▶ 表示されている項目を選択

#### ■ 読み取りデータの一覧 / 詳細画面



読み取りデータ一覧画面  
機能メニュー▶P.234



読み取りデータ詳細画面  
機能メニュー▶P.234

#### おしらせ

- 読み取りデータにバーコードリーダーで扱えない文字が含まれている場合、その文字はスペース(空白)に変換されます。

## お知らせ

- 読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。
    - タイトル：yyymmdd\_hhmm\_xxxx（年月日\_時刻\_4桁の数字）
- 同じ時刻で複数保存したときは、4桁の数字が登録した順に増えます。

機能

### 読み取りデータ一覧画面 (P.233)

#### タイトル編集

**結果表示**……読み取りデータ詳細画面を表示します。

#### 1件削除、全削除

機能

### 読み取りデータ詳細画面 (P.233)

#### 登録

**一覧表示**……読み取りデータ一覧画面を表示します。表示しているデータが未登録の場合、データを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

**Internet**……URLを反転している場合、そのURLのサイトに接続します。「Web To機能」→P.200

**メール作成**……「メール作成」を反転している場合、読み取りデータが入力された i モードメールを作成します。→P.148

メールアドレスを反転している場合、そのメールアドレスが宛先に入力された i モードメールを作成します。

**電話発信**……電話番号を反転している場合、その電話番号に電話をかけます。「Phone To/AV Phone To機能」→P.200

**電話帳登録**……「電話帳登録」を反転している場合、読み取りデータを電話帳に登録します。→P.88  
電話番号を反転している場合、その電話番号を電話帳に登録します。

メールアドレスを反転している場合、そのメールアドレスを電話帳に登録します。

**Bookmark登録**……「Bookmark登録」を反転している場合、読み取りデータをBookmarkに登録します。→P.192  
URLを反転している場合、そのURLをBookmarkに登録します。

**画像保存**……画像をデータBOXのマイピクチャに保存します。  
待受画面などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。

**メロディ保存**……メロディをデータBOXのメロディに保存します。

着信音などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。

**トルカ保存**……トルカをおサイフケータイのトルカに保存します。

**i アプリ起動**……「i アプリ起動」を反転している場合、読み取りデータで指定されている i アプリを起動します。→P.280

**コピー**……読み取った文字をコピーし、文字入力（編集）画面などに貼り付けることができます。→P.392

## お知らせ

### < Internet > < Bookmark登録 >

●URLに使用できない文字が含まれている場合、Web To機能の利用やBookmark登録はできません。

### < メール作成 >

●宛先に入力できない文字が含まれている場合、宛先には何も入力されません。

### < 電話発信 >

●テレビ電話画像の設定は発信や通話が終了しても保持されませんので発信ごとに設定してください。

## 文字を読み取る

(テキストリーダー)

外側カメラを利用して、印刷されている文字を読み取り、電話帳登録、メール作成、Bookmark登録などをします。また、電話をかけたり、インターネットホームページを表示したりすることもできます。

- 読み取りデータは8件まで登録できます。
- FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- 文字を読み取るときは、外側カメラを読み取りたい文字から約10cm離してください。
- 縦書きの日本語文字列を読み取ることもできます。

### ■読み取りモードについて

読み取りモードには以下のものがあります。読み取りたい情報に合った読み取りモードを選択します。

項目	説明
名刺読み取り	名刺などに印刷されている名前、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモを読み取り、読み取ったデータを電話帳に一括登録することができます。
メール作成	宛先、題名、本文を読み取り、それぞれが入力された i モードメールを作成することができます。

項目	説明
URL	URLを読み取り、そのURLのサイトに接続したり、Bookmarkに登録できます。
メールアドレス	メールアドレスを読み取り、そのメールアドレスを利用してiモードメールを作成することができます。
電話番号	電話番号を読み取り、その電話番号に電話をかけることができます。
フリーメモ	日本語や英語などの文字列を読み取り、テキストメモに登録することができます。

### ■読み取り可能な文字数について

読み取りできる文字数は読み取る項目によって以下のように変わります。

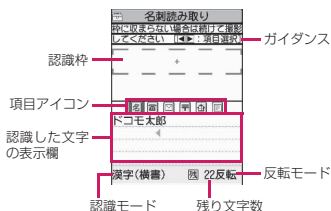
読み取る項目		最大読み取り文字数
名刺読み取り	名前	全角16文字、半角32文字まで
	電話番号	半角数字と#、*※1、+※1、p(ポーズ)※1、(、)、-で最大26桁まで
	メールアドレス	半角の英字、数字、記号で50文字まで
	郵便番号	半角の数字で7桁まで
	住所	全角50文字、半角100文字まで
	メモ	全角100文字、半角200文字まで
	宛先	半角の英字、数字、記号で50文字まで
メール作成	題名	全角100文字、半角200文字まで
	本文	全角128文字、半角256文字まで
	URL	半角の英字、数字、記号で256文字まで
メールアドレス	半角の英字、数字、記号で256文字まで	
電話番号	半角数字と#、*※1、+※1、p(ポーズ)※1、(、)、-で256文字まで	
フリーメモ	全角128文字、半角256文字まで	
辞典※2	日本語	全角32文字、半角64文字まで
	英語	半角64文字まで

※1：\*、+、p(ポーズ)は、文字編集でのみ入力可能です。

※2：辞典からテキストリーダーを起動したときに選択できます。

### ■読み取り画面の見かた

<名刺読み取りモードの画面例>



ガイダンス：そのとき行う操作など

認識枠：認識する範囲(認識範囲)

項目アイコン：読み取る項目  
 名刺読み取りモード：「名前／電話番号／メールアドレス／郵便番号／住所／メモ」  
 メール作成モード：「宛先／題名／本文」

認識した文字の表示欄：読み取った文字(画面によってはガイダンス)

認識モード：文字を読み取るときの認識モード「漢字(横書/縦書)／郵便番号／電話番号／メールアドレス／URL／英単語」

残り文字数：読み取り可能な残りの文字数(半角文字数で表示)

反転モード：反転モード設定が反転固定に設定されているときに表示

### 文字を読み取る

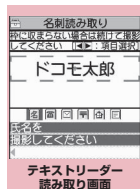
<例：名刺読み取りモードで読み取るとき>

① MENU ▶ 「LifeKit」▶ 「テキストリーダー」

■機能をデスクトップに貼り付ける場合  
 ▶ /ch [機能] ▶ 「デスクトップ貼付」

② 「新規読み取り」  
 「読み取りモードについて」→P.234

③ 「名刺読み取り」  
 外側カメラの撮影モードは自動的に「接写」になります。



機能メニュー▶P.237

#### 4 ④で読み取る項目アイコンを反転▶ 文字列を認識範囲に表示

ピントが合っている状態で、読み取りたい文字の上下が認識範囲にできるだけ大きく入るようにします。

読み取りたい文字列が一度に認識範囲に入らない場合、数回に分けて読み取ることができます。

#### ■ズームを利用する場合

④：「標準」→「拡大」に切り替わります。

④：「拡大」→「標準」に戻ります。

#### 5 ① [読取]

読み取り完了音が鳴り、認識した文字が赤色またはオレンジ色で表示されます。

#### ■撮り直す場合

▶ [CLR] ▶ 「YES」

読み取った文字列が表示欄を超えた場合は④または [M] [ナナー]、 [V] [OK] を押して確認できます。

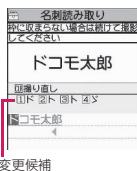
[登録] を押すと読み取られた文字がそのまま登録され、読み取りデータ画面（詳細）が表示されます。

読み取った文字を修正するには以下の2つの方法があります。

#### ■文字を選択して修正する場合

④で修正したい文字を反転▶変更候補文字の番号を押す

小文字に変換が可能な文字は、[✳]で大文字、小文字を切り替えることができます。



変更候補

#### ■文字編集で修正する場合

▶ [ch] [機能] ▶ 「編集」 ▶ 文字を編集

読み取った文字を通常の写真編集で修正することができます。

変更候補の選択に戻るときは、[ch] [機能] を押し、「認識候補選択」を選択します。文字の編集が終了したら、操作6に進みます。

#### 6 ① [確定]

文字として確定します。

#### ■残りの文字列を続けて読み取る場合

▶文字列を認識範囲に表示▶操作5へ  
このとき、すでに読み取った文字列の最後の2文字以上が認識範囲に入るようにします。

#### ■ほかの項目を読み取る場合

▶操作4へ

名刺読み取りモードのとき、電話番号は4件まで、メールアドレスは3件まで読み取りできます。

#### 7 [ch] [機能] ▶ 「登録」

読み取りデータ画面（詳細）になり、[CLR] を押すと読み取りデータ画面（一覧）に戻ります。

#### おしらせ

- 画面に「取込中…」のメッセージが表示されている間はFOMA端末を動かさないようにしてください。
- マナーモード設定中は、読み取り完了音は鳴りません。
- 手書きの文字は認識できません。また、FAXされたものやコピーしたもの、デザインされた文字や文字の間隔が一定でないもの、文字と背景が区別しにくいものなどは、正しく認識できない場合があります。また、周囲の照明などの状況によっては、正しく認識できない場合があります。

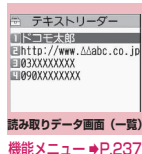
#### 文字情報を利用する

- 利用できる読み取りデータは以下のとおりです。

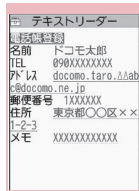
項目	説明
電話帳登録	名前、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモを電話帳に一括登録→P.88
メール作成	宛先、題名、本文が一括入力されたiモードメールを作成→P.148

#### 1 MENU ▶ 「LifeKit」 ▶ 「テキストリーダー」 ▶ 「読み取りデータ一覧」 ▶ 読み取りデータを選択 ▶ 表示されている項目を選択

#### ■読み取りデータの一覧/詳細画面



読み取りデータ画面（一覧）  
機能メニュー▶P.237



読み取りデータ画面（詳細）  
機能メニュー▶P.237

## テキストリーダー読み取り画面 (P.235) / 読み取りデータ画面 (一覧・詳細) (P.236)

### 編集※1、登録※2

**Internet**…… URLモードの読み取りデータのと  
そのURLのサイトに接続します。「Web To機能」  
→P.200

**メール作成**……読み取りデータが入力された新規  
メール作成画面を表示し、iモードメールを作成し  
ます。入力されるデータは、表示中の読み取りデータ  
や画面によって異なります。

**電話発信**……電話番号モードの読み取りデータのと  
き、その電話番号に電話をかけたり、SMSを作成し  
ます。

「Phone To / AV Phone To機能」→P.200

**電話帳登録**……読み取りデータを電話帳に登録しま  
す。登録されるデータは、表示中の読み取りデータや  
画面によって異なります。

**Bookmark登録**……URLモードの読み取りデータ  
のとき、そのURLをBookmarkに登録します。

**電話帳検索**……読み取りデータを使って電話帳を検  
索します。

読み取り画面の場合、名刺読み取りモード、メール作  
成モードのときは検索できません。

**テキストメモ登録**……読み取りデータを「テキストメ  
モ」に登録します。

読み取り画面、または読み取りデータ一覧画面の場  
合、名刺読み取りモード、メール作成モードの読み取  
りデータは登録できません。

**読取モード設定**※2……読み取りモードを「名刺読み  
取り、メール作成、URL、メールアドレス、電話番  
号、フリーメモ」から選択します。

**反転モード設定**※2……印刷物の状態に合わせて設  
定を行います。

**自動設定**……反転、無反転を自動的に判断します。

**無反転固定**……薄い色地に濃い色の文字が印刷  
されているときに選択します。

**反転固定**……濃い色地に薄い色の文字が印刷さ  
れているときに選択します。

**ガイドンスOFF⇔ガイドンスON**※2……ガイドンス  
を表示するかしないかを設定します。

**縦書き⇔横書き**※2……読み取りたい日本語文字列の  
横書き、縦書きを設定します。

**詳細表示**※3、**一覧表示**※4

**コピー**※5……読み取った文字をコピーし、文字入力  
(編集)画面などに貼り付けることができます。

### 1件削除、全削除※5

※1：読み取りデータ画面（一覧）では利用できない機  
能です。

※2：読み取り画面でのみ利用できる機能です。

※3：読み取りデータ画面（一覧）でのみ利用できる機  
能です。

※4：読み取りデータ画面（詳細）でのみ利用できる機  
能です。

※5：読み取り画面では利用できない機能です。

### おしらせ

- テレビ電話画像の設定は発信や通話が終了しても  
保持されませんので発信ごとに設定してください。

